

遊技産業新経営者会議

5班が4テーマで発表

永井教授「成果共有し、考える力を」

第3回遊技産業新経営者会議（リーダー・西村拓郎 東京都・関東支部長）が2月26日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれ、33人が出席した。

韓裕担当副会長の挨拶に続き、昨年11月27日の第2回会議で5班に分かれて討議していた4つの担当テーマについて、班ごとに15分前後の持ち時間で発表を行った。テーマは、①2020年業界の目指すイメージと妨げる壁 ②これから求められる遊技機 ③新規市場の創造 ④社員育成とモチベーションマネジメント——で、



5班の発表が行われた遊技産業新経営者会議

各班はこの日までに随時集まって構想を練ってきた。永井猛早稲田大学ビジネススクール、同大学院商学研究科教授は講評で、「今回のグループワークの目的は考える力をどう鍛えるかです。5班の成果を共有し、それをベースに各自

で考えていつてほしい」と述べた。

「意義深い横断的意見交換」

最後に懇親会が開かれた。榎本善紀京楽産業社長が「若い経営者・幹部が業界横断的に集まり考えを述べ合ったことは意義深いものだった」と述べ、乾杯の発声を

した。

新経営者会議は、次代を担う若手経営者・幹部たちが日遊協活動を通じて結束し、日遊協及び会員企業の組織基盤をより強固なものにして将来に継続させていくことが目的の勉強会。原則として3か月に1回開催する。

出席者は次の通り。

（順不同、敬称略、社名の(株)有略）

〔1班〕榎本善紀（京楽産業）、平本直樹（プロバ）、内ヶ島正規（高尾）、新富雅哉（新富商事）、北川大樹（アクト）、神保重宏（名古屋商事）、山口拓馬（山口商事）〔2班〕岸野誠人（東和産業）、富田和宏（ABC）、有川勝紀（ジッピーエム）、蒲裕一（ライズ）、山本利和（日進）、日野元太（トリックスターズ・アレア）、山田篤（九州エース電研）〔3班〕山中康敬（マタハリ）、大泉秀治（オーイズミ）、金光淳用（ヒカリシステム）、後藤直親（ナオ）、西谷彰二朗（西の丸）、新富和紀（新富商事）、寺内大貴（テラウチ）、実川裕一郎（マルハン）〔4班〕林大統（ジヨイパックレジャー）、栢森秀行（ダイコク電機）、増田光均（マンドレ）、趙顕洙（三慶商事）、金海基浩（ユーコー）〔5班〕深谷太嗣（フシミコーポレーション）、東野昌二

（平成観光）、宮本茂（メッセ）、松谷義明（ビクトリア観光）、新美健一（有美観光）、内田忠良（ウチダ）

流通勉強会

流通の適正化を協議

日遊協の第3回流通勉強会が2月6日、本部会議室で開かれた。近畿、東京都・関東両支部から景品卸5社の代表、庄司孝輝会長、福井章担当副会長、篠原弘志専務理事、茂木欣人風営法PTリーダーら計10人が出席し、賞品流通等の適正化に関して議論した。

インターネット広告協議会

2千枚台前半の低迷

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成）は2月19日、日遊協本部会議室で開かれた。「パチンコのチラシPowered by Shufu!」の1月の掲載枚数が2187枚だったことが報告された。掲載枚数は02年12月に3000枚の大幅に落ち、しばらく3000枚前後の比較的高水準を続けていたが、昨年夏以降2000枚台に落ち、とくに11月以降2000枚台前半に低迷している。



## 警察庁、ホール5団体に要請

置引き防止の対策を  
全体の21%が  
ホールで発生

警察庁は2月5日、生活安全企画課長、保安課長連名で、ホール関係5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)に対し、「ばちんこ営業所における置引きの発生防止等犯罪の未然防止について」と題する要請文を発した。これを受けて日遊協は同日、ホール会員に向けて同趣旨のお願い文を発した。

警察庁によると、2013年中にばちんこ営業所等で発生した置引きは9121件で、2002年の5528件から約65%増加し、そのほとんどがばちんこ営業所での発生となっている。このため、置引き全体に占めるばちんこ営業所等での発生割合は02年の7.3%から13年は21.1%に上昇し、2006年以降は置引きの最も多い発生場所となっている。被害品はカード類、かばん・財布等の手回り品で、遊技台付近で被害に遭うケースが多いという。

同庁では、置引きの発生防止には営業者と警察等とが協力して防

犯活動を推進して行くことが重要

であり、なお一層の未然防止に向けた取り組みを要請している。具体的には、①店内の警戒強化(従業員による店内巡回、遊技客への声掛け等)②店内放送による注意喚起(手回り品やカード類を置いたまま離席しないこと等の呼びかけ)③コインロッカー設置及び利用の促進④店内・駐車場への防犯カメラ設置の推進⑤広報啓発の推進(ポスター、ステッカー等の貼り出し)——等の取り組みを挙げている。

## セキュリティ対策委員会

## 置引きで調査と対策

## HPの更新案を検討

第76回セキュリティ対策委員会(委員長・山田久雄日遊協副会長)は2月25日、日遊協本部会議室で開かれた。遊技産業不正対策情報機構(PSIO)要綱の改訂案が提出された。細部を調整した最終案で、各団体が持ち帰って検討し、次回の委員会(3月25日)で同意を得て、4月1日に施行の

予定となっている。

ホームページ(パチンコ・パチスロサーバーネット)の更新案が提出され、レイアウト、見出しなどを検討した。

警察庁がホール関係5団体に対し2月5日、「ばちんこ営業所における置引きの発生防止等犯罪の未然防止について」と題する要請文を発したことに関連し、全国的に置引きの件数が減っている中でホールだけが異常に増えているとの指摘があり、原因を調査することになった。また、これに関連して、注意喚起の統一ポスターをつくってホール内に掲示する意見が出され、検討することになった。

## 不正対策室会議

## 一般は664件入力

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は2月20日、日遊協本部会議室で委員ら13人が出席して開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。2014年1月のPSIOオンラインネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から27件、一般ファンから664件の入力があ

った。般ファンの入力は、2013年1月と比べると142件(2013年1月522件)増えている。

ゴトはパチンコでは玉がかり、玉持ち込みなど旧来からの手口が多く、パチスロに対しては電磁波あるいはショートゴトが続いている。パチスロのゴトで針金やセルを筐体に差し込むケースが多いが、お客様からの通報で未遂に終わらせているケースがかなりあることが報告された。不正情報では、出玉に関する疑問、データ表示の異常などに並んで、違法な広告宣伝などについての入力が目立った。

## 貯玉補償基金理事会

## 日程、広告掲載の件承認

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・深谷友尋日遊協相談役)は2月12日、日遊協本部会議室で第53回理事会を開き3議案を審議した。平成26年度社員総会・理事会開催スケジュール、貯玉補償基金広告の日遊協広報誌への掲載をそれぞれ承認した。ホール会社1社より出された貯玉補償経費免除申し入れの件に関しては認めないこととし、実際の処理は当該センター事業者が当たることとした。



## ゴト対策4団体会議

# 根本的対策の要望で協議 動画映像で実態を検証

ゴト対策に関する4団体会議は2月17日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協の4団体のほか全商協、回胴遊商のオブザーバーら51人が出席した。パチンコのゴト



動画映像を見てゴトの検証を行った

動画映像で実態を検証

情報では、(株)ニューギンや(株)三洋物産などの遊技機に対する玉がかり、パチスロでは山佐(株)、サミー(株)などの電磁波やセルによるゴトなどが報告された。その中で、「餃子の王将」への電磁波ゴト、「化物語」のセルゴトについては詳しく検討された。

ホール側から、特に玉がかりなどのローゴトに対して根本的な対策を講じてほしいと要望が出され、メーカー側は難しい技術的側面があるが努力したいと答えた。ユニバーサル系のクレマンについて実際の映像が上映され、リールを廻しながら15枚から17枚のクレジツトを上げる状況などをつぶさに検証した、ジャグラーの電磁波ゴト、AKB48のARTゴトの様子も上映され実態を把握した。

## 中古機流通協議会

### 12月1月のデータ報告

第86回中古機流通協議会(委員長・阿部恭久全日遊連副理事長)は2月17日、全日遊連会議室で開

かれ、昨年12月、今年1月の中古用と認定用の確認証紙発給状況が報告された。

パチンコの中古用稼働実績は、12月は5万4252件・9万8143台(前年対比・件数100%、台数90%)。販売とチェーン店移動の比率は54%対46%だった。1月は5万3931件・9万8273台(同・件数120%、台数113%)。販売とチェーン店移動の比率は55%対45%だった。また、認定用証紙の発給状況は、12月が1170枚(同・件数50%、台数27%)、1月が6079枚(同・件数81%、台数60%)だった。

一方、パチスロの中古用稼働実績は、12月は2万3431件・4万1272台(同・件数125%、台数109%)。販売とチェーン店移動の比率は57%対43%だった。1月は2万5095件・4万4554台(同・件数143%、台数120%)。販売とチェーン店移動の比率は55%対45%だった。また、認定用証紙の発給状況は、12月が8734枚(同・件数61%、台数83%)、1月が534枚(同・件数35%、台数9%)だった。

全日遊連と日遊協とで検討が継続

けられている点検補助員制度についての途中経過が報告された。

## 遊技機リサイクル推進委員会

### 2社が現地調査で「適」 規程改正後初めての更新

第68回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志日遊協専務理事)は2月7日、日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル選定業者のアキラ産業(愛媛県)が、倒産によってリサイクル業者選定証を返納したことが報告された。これで選定業者は39社となった。

昨年11月の遊技機リサイクル関係規程改正後、初めて更新申請を提出した選定業者の多摩デリバリ(株)(東京都)、藤蔭工業(広島県)の2社について現地調査が行なわれ、両社とも「適」と判定されたことが報告された。

選定業者の更新は、従来慣例として自動更新を行ってきたが、関係規程改正後、遊技機リサイクル業者選定要綱の中で、更新については5年間として延長し、更新時に申請書を提出してもらって、必要と認められる場合には現地調査を行うこともあるとの規程が設けられた。



## 新規登録3社を承認

### 98業者が更新適合

平成25年度第3回登録資格審査委員会（委員長・庄司孝輝日遊協会会長）は2月27日、日遊協本部会議室で開かれ、新規登録申請3業者（全商協関係2、回胴遊商関係1）を全員適合とした。更新登録申請を行った98業者（全商協関係42、回胴遊商関係48、日工組関係4、日電協関係4）を全員適合とした。

登録資格審査委員会は遊技機販売業者の業務適正化を促進する目的でつくられ、販売業者の登録、更新、取り消し、効力停止について審査し、決定する。日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、全日遊連からの委員と学識経験者で構成されている。

## 東京都・関東支部役員会

### 行事日程を検討・確認

東京都・関東支部役員会は2月19日、本部会議室で開かれ、2014年の行事予定を確認した。この中で支部総会を6月5日、西新宿のハイアットリージェンシー東



2014年の計画を協議した東京都・関東支部役員会

京で日遊協定時社員総会と同日開催すること、9月下旬から10月初旬にかけての4日間に皇居勤労奉仕活動を行うこと、11月上旬にチャリティゴルフコンペを開催すること等が含まれている。

13年の会員獲得状況が報告された。新規会員として10社（正会員、賛助会員各5社）が入会した。1月9日現在の同支部の会員数は正会員118社、賛助会員45社、計163社となっている。1月の定例理事会で新規入会が認められた

賛助会員の(株)レオパレスから入会挨拶と業務説明があった。

## 依存問題で講演と討論

### RSN主催のセミナー

特定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)(西村直之代表理事)主催のセミナー「パチンコ・パチスロ&ギャンブル依存について」が2月12日、東京・秋葉原のUDXカンファレンスで開かれ、遊技業界関係者を中心に約100人が参加した。

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科医長、河本泰信氏が「精神医療から見た病的ギャンブルングとその対応」と題して基調講演を行なった。次いで西村RSN代表理事が「電話相談から見えるパチンコ・パチスロ依存の現状」と題して講演した。最後に「依存問題にどのような向き合っていくか」をテーマに、医療関係者、ホール関係者、遊技者代表等6人によるパネルディスカッションが行なわれた。諏訪

東京理科大学教授・日遊協理事、篠原菊紀氏が司会をし、パネラーには河本、西村両氏のほか、ホール代表として茂木欣人(日遊協風営法プロジェクトチームリーダー)、薛博夫(同友会副代表理事・日遊協社会貢献・環境対策委員会委員長)の2氏が参加した。(40〜45ページに河本氏のインタビュー)

## MARCH

3月の行事予定	3日(月)	10:00~17:00	店長・管理職能力開発等講習(東京)
	4日(火)	10:00~17:00	店長・管理職能力開発等講習(東京)
	6日(木)	14:00~15:00	ホール5団体事務局連絡会(全日遊連)
	13日(木)	15:30~17:30	流通勉強会
	14日(金)	15:30~17:30	人材育成委員会
	17日(月)	15:00~	推進機構臨時社員総会(ホテルメトロポリタンエドモンド)
		16:00~	ホール5団体代表者会議(同)
	19日(水)	15:30~17:30	広報調査委員会
	20日(木)	11:00~13:00	政策検討連絡会
		13:30~16:00	第6回定例理事会
		16:30~	記者会見
	24日(月)	13:30~14:30	不正対策室会議
		15:00~17:30	社会貢献・環境対策委員会(グローリーナスカ)
	25日(火)	15:00~17:00	セキュリティー対策委員会
	15:00~17:00	遊技機委員会(場所未定)	
28日(金)	15:00~17:00	東京都・関東支部セキュリティー部会	



## 中国・四国支部役員会

### パチスロ強化へ提起 新年互礼会で親睦を図る

中国・四国支部は1月30日、広島市のメルパルク広島で役員会及び新年互礼会を開いた。

役員会は後藤信行支部長以下15人が出席し、平成25年度事業報告と平成26年度の事業計画を審議した。審議の結果、①役員一人一人が強い気持ちで1会員の獲得へ活動する。②平成26年度総会5月9日、メルパルク広島で開く。③平成26年度は役員改選期に当たるが各役員はいずれも留任で集約。ただし後継者育成へ抜本的な施策を研究する。④地域に密着した社会貢献のために平和公園や岡山市内花火大会の清掃活動を継続する。⑤パチスロ強化へ「パチスロファン感謝デーの創設」を本部長理事会に提起する——ことなどを確認した。

新年互礼会は、会員、他団体役員など25人が参加し、談論もにぎやかに親睦を図った。

## 中部支部セキリティ対策部会 ゴト事案の対策など協議

中部支部（山口悟支部長）は1月29日、名古屋市のアイリス愛知で「支部セキリティ対策部会及び中部遊商との情報交換会議」を開き、日遊協から山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長はじめ23人が参加し、中部遊商からは平井広義副理事長、船戸良

徳七委員会委員長が出席した。

2013年11～12月におけるゴト事案の具体的な報告、愛知県ゴト情報対策協議会の報告の後、現段階のゴト対策の問題点などを協議した。会議終了後、懇親会を開き歓談のときを過ごした。

## 愛知県ゴト情報対策協議会 店内の置き引きなど協議

愛知県ゴト情報対策協議会が2月6日、名古屋市の愛遊協で開かれ、日遊協から山口悟会長以下5人、愛遊協4人、岐阜県遊協2人、三重県遊協から1人の12人が参加した。最近3か月のゴト傾向報告のあと、店内の置き引き対策、ECO遊技機への要望など多岐にわたって協議した。

## 会員・業界消息

### ●代表者変更

▼KPE株式会社

代表取締役社長・木曾原和之

|| 3月16日

### ●住所変更

▼総合ユニコム株式会社

東京都中央区京橋2丁目10番2号

ぬ利彦ビル南館6階

|| 3月1日

▼アーク・フロント株式会社

東京都北区田端新町2・4・7

|| 1月31日

宮脇磊介氏（前一般社団法人余暇環境整備推進協議会代表理事）

2月9日、多臓器不全のため死去。

82歳。通夜、告別式は家族葬で執り

行われた。

宮脇氏は2004年5月から13年

代表理事を務めた。

# DATA SPOT

## 総台数で3か月連続前年比割れ

全日遊連は2月27日、店舗数、遊技機台数の2014年1月分を発表した。店舗数は、昨年12月に比較して5店減り、1万948の店舗数は、年間ペースだと昨年1月（1万1171店）と比べて、この1年間223店舗マイナスで、低下傾向は止まらない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万4698台（昨年1月280万5774台）と下がり続けている。一方パチスロ機はプラス4万1613台（昨年1月144万1076台）と相変わらず前年比増を保っている。しかし、総台数では昨年1月と比べて3085台（昨年1月424万7006台）減っている。総台数は2011年の11月から前年比で2年間プラスを続けていたが、昨年11月からマイナスに転じて3か月目だ。総体の下降が始まっている恐れがある。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	249	+3
東北	552	+3
東京	594	-1
関東	1664	+4
中部	529	0
近畿	919	-1
中国	302	+5
四国	156	-1
九州	637	+6
全国計	5584	+18

(2014年1月31日現在)

## 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成26年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,948	18	18	105 (12)	2,761,076	1,482,689	156	4,243,921